



夢・挑戦・感動を大切にする教育

霞西中だより

第 13 号

令和2年12月25日 発行 校長 堤 貴幸

〈学校教育目標〉

心身ともに健康で
自ら行動する生徒の育成

〈目指す生徒像〉

- 夢を持ち自ら学ぶ生徒(自主)
- 心豊かで思いやりのある生徒(敬愛)
- 心身ともに健康な生徒(錬磨)

コロナ禍でも前向きに頑張った2学期が終わりました

本日の終業式で、生徒達に以下の話をしました。

全校生徒の皆さん、おはようございます。

今日の終業式も放送により行わなければならないことを、とても残念に思っています。なぜなら、皆さんがコロナ禍ということで様々な制限があったり、我慢をしなければならない場面がたくさんあったにも拘わらず、何事にも明るく前向きに取り組んでくれたことに対して、皆さんの顔を見て感謝の気持ちを伝えられたからです。

新型コロナウイルスの影響で4月・5月が臨時休校になり、長い間授業ができなかったために、毎年、皆さんが楽しみにしている夏休みが大変短くなってしまいました。8月中旬から2学期が始まり、大変長い2学期となりましたが、皆さんは、この長い2学期を健康管理に気をつけながら本当によく頑張ってくれました。

この間、常にマスクをした生活を送り、3密を防ぐために、今日の終業式をはじめ、2学期始業式や全校生徒が集まる様々な朝会、生徒会活動にとって大変重要な生徒会本部役員選挙の立会演説会なども、全て放送による形でしか実施することができませんでした。また、部活動でも様々な制約がかかり、思う存分に活動ができず、不満がたまっている人もいますことと思います。本当に窮屈でストレスがかかる日々の連続だったことでしょう。

そんな中で、縮小の形ではありましたが、何とか合唱コンクールと体育祭を実施することができたことは、何よりでした。

皆さんは、私が2学期の始業式で話をした内容を覚えているでしょうか。私は「1学期は多くの行事が中止になり、皆さんに残念な思いや悔しい思いをさせてしまったので、2学期の行事は、何とか開催したい」という話をしました。そしてさらに、皆さんに2つのご希望を願いました。

1つ目は、行事を無事に行うために、霞ヶ関西中学校から新型コロナウイルスの感染者を絶対に出さないように、一人一人が強く意識して生活すること、2つ目は、合唱コンクールや体育祭は、例年より規模を縮小して開催しますが、規模は縮小になっても、例年通りに楽しい行事、思い出に残る行事になるように一人一人が協力と努力をすること、というお願いでした。

今、合唱コンクールと体育祭を振り返ってみて、皆さんがこの2つのご希望をしっかりと実行してくれたことを校長として本当に嬉しく思うとともに、そんな皆さんのことを誇りに感じています。どちらの行事も、皆さんは真剣に、そして、クラスのみならずと行える喜びをかみしめながら取り組んでくれました。特に体育祭は、競技種目がたった3種目のみで、プログラムの際には大変寂しい体育祭でしたが、全てが学級対抗戦ということ、そして、今年度初めて全校生徒が一堂に会しての行事であったということもあり、皆さん一人一人が自分の役割を果たし、クラスのみならずと協力して

頑張っている姿をたくさん見ることができました。また、自分のクラスだけでなく、先輩が後輩を、後輩が先輩を応援する姿もあり、見ていてとても清々しい気分になりました。そして、何より皆さんの素晴らしい笑顔がたくさん見られたことが本当に嬉しかったです。1年生にとっては、中学校に入学して初めての合唱コンクールと体育祭が、縮小した形になってしまいましたが、来年は、例年通りに盛大にできることを一緒に願いましょう。3年生にとっては、義務教育最後の合唱コンクールであり、体育祭であったわけですが、良い思い出になっていればと願っています。

ところで、行事のことで一つだけ残念でなかったことがあります。それは、2年生の修学旅行が実施できなかったことです。

2年生は、2学期に入ってすぐに準備をスタートさせ、計画的に様々な話し合いを行い、しおりも完成して、いよいよ出発という5日前になって、急遽、教育委員会から修学旅行を取りやめるようにとの指示が出されました。大変残念ことであり、2年生の皆さんは、悔しい思いでいっぱいのことと思います。しかし、皆さんの健康があつての学校生活であり、修学旅行ですので、仕方がないことです。また、完全な中止ではなく延期ですので、「ああ、残念、悔しい」とネガティブにとらえるのではなく、「楽しみが先に延びた」とポジティブな考え方をしてみてください。そして、「2年生の時に行かずに、3年生で行ったからこそ、こんなに楽しい思い出に残る修学旅行にすることができた！」と言えるような修学旅行になれば最高だと思いませんか。ちなみに2年生の先生達は、そんな修学旅行にするために、すでに旅行者と打合せを始めています。2年生の皆さん、来年の修学旅行を楽しみに、これからの学校生活を送ってください。

最後に、明日から冬休みに入ります。今年の冬休みは、例年以上に健康に気をつけて過ごしてください。そして、自分のやりたいことだけをする「だらけた生活」ではなく、「早寝、早起き、朝ご飯」の規則正しい生活を送ってください。年末は、何かと大人は忙しくなります。特に今年の冬休みは部活動がありませんので、家の手伝いを率先して行うなど家族の一員としての役割をしっかりと果たしましょう。

また、学校が休みということで、SNSを利用する時間が増えることと思いますが、絶対に友達に迷惑を掛けるような間違った使い方をしないように肝に銘じてください。3学期に先生達が皆さんに指導をしたり、保護者の方に連絡をしなければならぬ事態にならないように気をつけてください。

それでは、皆さん、良い年を迎えてください。そして、1月5日に全員が元気に登校してきてください。

ご支援・ご協力に心より感謝申し上げます

本日をもちまして、2学期の学校生活が終了となりました。1学期に引き続き、新型コロナウイルスに振り回された93日間でした。この間、例年とは大きく違う状況下にも拘わらず大きな事故やトラブルもなく無事に本日を迎えられるましたのは、保護者の皆様方のご支援、ご協力があったからこそと深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

現状から考えますと、3学期になりましても新型コロナウイルスの感染拡大状況が一気に好転することは残念ながら期待することはできないと思われます。保護者の皆様には、明日からの冬休みも含めまして1・2学期と同様に、お子様及び同居家族の皆様の健康管理をはじめ、様々な面での学校へのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

お願い

冬休みも含め、3学期以降、お子様や同居するご家族の方の感染が疑われ、濃厚接触者やPCR検査等の対象者になった場合は、必ず学校にご連絡ください。土・日や 閉庁日(12/28~1/3)は、川越市役所(224-8811)に電話をしてください。

トラブル防止のために、お子様のSNSの使用に関心をもってください

前号の「霞西中だより」(12月1日発行)に掲載いたしました、本校では毎年、生徒間でSNS絡みのトラブルが起っています。今年度も、1年生と2年生で起きています。

加害者は軽い気持ちで行った行為でも、被害者は大変傷ついたり、嫌な思いをさせられます。SNS絡みのトラブルは、単なる子ども同士のいざこざでは済まされず、まさに人権問題です。私が過去に勤務した中学校では、生徒同士のSNS絡みのトラブルが警察が介入する事態にまで発展し、加害の生徒は数回に渡り警察署に呼び出されて事情聴取と指導を受け、最終的には家庭裁判所にまで呼ばれて指導を受けたということがありました。こうなってから後悔したり反省しても手遅れです。

また、SNSを間違った使い方をしてしまうと、自分自身が犯罪やトラブルに巻き込まれてしまうこともあります。

以下、「政府広報オンライン」の内容を抜粋掲載します。参考にしてください。

【子供のスマートフォン利用に関するトラブル例】

○書き込みやメールでの誹謗中傷やいじめ

SNSなどで人の悪口を書き込むなど、インターネット上での人権侵害やいじめが発生し、被害に遭った子供が不登校となるなどの事例も発生しています。

○SNSなどに載せた個人情報の流出

SNSなどに安易に個人情報を記載したために、写真や名前、メールアドレスが知らない所で勝手に使われ、嫌がらせを受ける被害が発生しています。

○SNSを通じて知り合った人からの誘い出しによる性的被害

最近では、出会い系サイトではなく、SNSやゲームサイトなどで知り合った人からの誘い出しを受けて、子供が性的被害を受けるケースが増えています。令和元年(2019)年にSNSに起因して犯罪被害にあった子供の数は2,082人となっています。

○無料ゲームサイトでの意図しない有料サービスの利用

「無料」とうたっているオンラインゲームで遊んでいる間に、アイテムが有料であることに気付かず購入してしまったため、高額な料金を請求されてしまうトラブルが、子供の間で多く発生しています。



【保護者ができる3つのポイント】

○お子さんのスマートフォン等の利用状況を把握するために、ペアレンタルコントロールを活用しましょう

ペアレンタルコントロールとは、子供のスマートフォン等の利用状況を保護者が把握したり、安全管理を行ったりする仕組みで、OS事業者、アプリ開発事業者からサービスが提供されています。例えば、子供がスマートフォン等でゲームをプレイする場合、保護者のスマートフォンで、子供の日々のプレイ状況を確認したり、プレイする時間の長さや時間帯の調整、課金の制限等を行ったりすることができます。子供の使用状況に応じて上手く活用しましょう。

○不適切な情報や危険な出会い等を防ぐために、フィルタリングを賢く利用しましょう

子供がスマートフォン等を利用する際には、有害情報へのアクセスを制限する「フィルタリング」を活用しましょう。うっかり、あるいは故意に危険なサイトにアクセスしないようにしてくれる便利な機能です。それによって、出会い系サイトやアダルトサイト、暴力的な表現のあるサイトなどを、子供が閲覧できないようにします。

○家庭のルールをお子様と一緒に作り、成長とともに少しずつ改定していきましょう

実社会でやってはいけないことは、インターネット上でもやってはいけません。子供がスマートフォン等で上手にインターネットを活用できるようにするために、家庭のルールをつくりましょう。ルール作りは保護者の一方的な押し付けではなく、子供と一緒に、利用目的や利用場所・時間帯を話し合っルールを決めることが大切です。また、そのルールは、成長とともに少しずつ改定していくことが必要です。

《家庭のルールの具体例》 ・名前や顔写真、学校名などは書き込まない。 ・利用する場所や時間を決める。

・パスワードは親が管理する ・友達にメールやメッセージのやり取りを強要しない。

明日から冬休みで、お子さんが普段よりSNSを利用する時間が増えることが予想されます。トラブルを起こさない、トラブルに巻き込まれないようにお子様のSNSの使用に関しまして、保護者として子供に任せっきりせず、関心を持って見守り、指導をお願いします。